



プログラム (行事コード:24604) : 平成 28 年 10 月 28 日(金)

## 『施工計画講習会「施工計画のポイントと ICT の動向」』

<p>主催 : (公社)土木学会 (担当:構造工学委員会・継続教育小委員会)</p> <p>共催 : (一社)建設コンサルタンツ協会関東支部 (一社)日本橋梁建設協会 (一社)日本建設業連合会 (一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会</p> <p>開催日 : 平成 28 年 10 月 28 日(金)</p> <p>場所 : 土木学会「土木会館」2F「講堂」 新宿区四谷 1 丁目無番地 外濠公園内 JR 中央線「四谷駅」下車、徒歩 3 分</p> <p>定員 : 100 名 CPD単位: 6.2 単位</p>	<p>参加費 : 会員 6,000 円、非会員 7,000 円、学生 3,000 円 ※講義「土木技術者の倫理」の内容に関する以下の参考図書を当日受付で販売(参加者特価 1,000 円)いたします。 「土木技術者の倫理を考える -3.11 と土木の原点への回帰- 倫理社会規範委員会編」</p> <p>テキスト : 講演概要を冊子で配布します。</p> <p>申込方法 : 土木学会ホームページよりお申し込みいただくか、別紙「本部行事参加申込書」で土木学会行事担当宛に申し込んで下さい 学会HPの URL <a href="http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp">http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp</a></p> <p>申込締切 : 平成 28 年 10 月 18 日(火)(定員に余裕がある場合には当日会場で受付します)</p>
--	---

### 【講習会の内容】

近年の社会・経済の情勢から、構造物の建設に際して「構造物の品質を確保し、安全で経済的な」施工を行うことが求められています。そのためには、地盤をはじめとする現場の状況を十分に把握し、当該位置に沿った施工計画を行うことが重要ですが、未だ大部分を現場技術者の経験に頼って計画されているのが現状となっており、これまで得られた経験・技術を継承し、総合的見地から公共的諸課題を解決し、社会に貢献する必要があります。

一方、コンピューターや通信技術などの情報化分野で急速な技術革新が進んでおり、建設産業でもこれらの情報通信技術 (ICT (Information and Communication Technology) という) を活用した合理的な生産システムの導入・普及の促進により、技術集約的産業へ、そしてより魅力的な産業へと変革していくことが期待されています。

本講習会では、技術者が適切に各々の施工位置に則した施工計画を行えるよう、実務で陥りやすいミスや注意点を交え、地盤の基礎知識、土留め工・仮締切りの計画と施工について解説します。加えて、技術者個々に求められる土木技術者倫理についても解説します。また、昨今の情報通信技術の活用例を、最新の事例とともに紹介し、目指すべき方向、実際直面している課題について解説します。

9:00~ 9:10	開会挨拶	継続教育小委員会委員長	岩崎 英治
9:10~10:30	地盤の基礎知識	鹿島建設(株)	坂梨 利男
10:40~12:00	土留め工・仮締切りの計画と施工	清水建設(株)	三木 浩
12:00~13:00	(昼 食)		
13:00~14:00	土木技術者の倫理	倫理・社会規範委員会 教育小委員会	本多 伸弘
14:00~14:50	国土交通省における i-Construction・CIM の取組み	国土交通省	山下 眞治
15:00~15:50	ICT に対する取り組み事例(施工~維持管理)	清水建設(株)	鈴木 正憲
16:00~16:50	画像解析技術を用いたコンクリート構造物の点検技術	大成建設(株)	堀口 賢一
16:50~17:00	閉会挨拶	継続教育小委員会	入部 孝夫

